

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 放課後等デイサービス 青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	スペースは、複数のグループで活動できるよう、パーテーションを使用して分割できる。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	法定職員数の確保は遵守している。	日によっては、増員が必要と感じている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	建築時からバリアフリー化設計されています。職員の配置を工夫し、死角をつくらないようにしている。	トイレの数を増やせばスムーズだと思う。バリアフリーだが、死角がある。職員の配置を工夫しながら活動を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	子どもたちの使用状況に合わせて、荷物置き場など工夫しています。	収納や片付けの面でより分かりやすくしていくよう計画している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	打ち合わせ時間を多くとり、テーマを決めて会議を多く取っている。	全職員が集まる日の設定が難しいので全体会議の時間の確保と実施日を早めに設定していくようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	歴代の子どもの保護者とともに、つづけてきた事業所のかたちが今あると思っています。	毎年いただく声を元に必要とする改善点を今後も協議していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	毎年、自己評価アンケートを保護者と事業所職員にとり、その集計結果と結果を踏まえた改善に向けた内容をホームページにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	法人内の他事業所職員の視察時にご意見をいただき、業務改善に努めています。	第三者による外部評価はおこなわれていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	時間の許す限り、職員には受講できる機会を与えるようにしています。	外部の研修や講演の情報も共有し、個々での支援の質向上に向けて取り組んでいます。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	子どもと保護者のニーズと主訴がどこにあるか、客観的に捉えるように努めています。	面談や相談支援員等関係する人との連携をしながら、目標設定を作っていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	6	アセスメントツールを標準使用することはありませんが、法人の発達相談員と連携しています。	アセスメントツール使用については個人情報にも配慮しながら発達相談員の連携に向けて計画しています。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0		次年度から計画書の見直しを進めていながら、必要とされる項目に沿っての目標と支援計画を作成する予定です。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	0	子ども本人、保護者のニーズを捉えた支援計画に沿って、支援プログラムを組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	パート職員も含めた職員ミーティングの時間を増やすようにした。	引き続き支援職員全員で計画を進めていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	子どもや職員が生き生きと活動できるプログラムを立案しています。	

は 支 援 の 提 供	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	平日は休息を。休日や長期休暇には、生活リズムや活動の計画性を重視した意識づけをとっています。	集団目標と個々の様子をみながら個別目標(過ごし方)を状況に応じて対応できるように支援しています。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	個別の生活支援が必要な子、集団でのなかまとの関係を深めることを意識させたい子など、丁寧に作成している。	子どもたちが“やりたいこと”をできる環境だと思っています。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	パート職員の出勤時間枠を広げ、送迎前の時間にミーティングが取れるように工夫している。	(勤務時間の関係で)毎日全員で行うことは難しい。(パート職員)
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	6	常勤職員間では、送迎終了後に報・連・相を行うようにし、気づきなど共有している。	現在は終了後での会議が難しい。翌日での話し合いにはなるが、振り返り会議は行っています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	支援提供記録用紙で活動の記録をするようにしています。	更に支援員向けの記録を作成しながら、振り返り時や目標設定の参照にしています。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	子どもの成長段階に合わせて、支援計画の見直しは、必要です。	相談員とも連携しながら、最低半年に1回は会議を実施している。状況に応じて臨時会議も行うようにしています。
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	0	ガイドラインが示される前から、基本活動に記されている活動を取り入れています。	年1回はガイドラインを振り返る時間を作り、ズレが生じていないか検証する時間を設けていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者のほか、日頃の子どもの様子を理解しているものを参加させるようにしています。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1	担当教諭との連携を深めるため、日頃から会話をするように努めている。また、気づきがあるときは、様子を聞かせていただくようにしている。	こちらから担任教諭に声をかけさせていたで、情報交換をしている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	法人内の児童発達支援センターでの様子は、放デイ職員も見学にいかせてもらうなど、理解を深めるようにしています。	

保護者との連携	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	相談支援専門員や福祉サービス事業所からのお尋ねについては、保護者の同意を得て、情報提供をしています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	法人内の各児童発達支援センターや児童発達支援事業所との職員との連携関係を築いています。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	現在できていない	那賀圏域全体でも課題になっています。学校との協議も進めていながら何が出来るか・何が必要かの協議を進めていく予定になっています。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0	自立支援協議会子ども部会サブ部会の放デイ交流会に定期的に参加しています。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	送迎時、面談に気づいた点など、成長とともに喜び合えるような関係を持てるように努めている。	成長しているところ、気にかかるところを伝え合っている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	5	卒業後の進路について、ストレングスを考慮した選択肢を提案し、作業所情報などを、共有しています。	保護者からの声で必要に応じて外部の専門員に助言を頂きながらのアドバイスを進めています。支援員としても必要とする知識取得が必要で研修会の開催・参加を進めています。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	5	面談または交流会での説明を行っています。	多くの方に参加しやすい会を計画していきます。また伝わりやすい文書になっているかの見直しも行っていきます。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	6	0	面談や交流会での説明機会を設けています。	時間をかけて説明できるように面談時間に余裕ある計画が必要。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	保護者からの声で必要に応じて外部の専門員に助言を頂きながらのアドバイスを進めています。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	保護者向けの学習会・親子イベント(交流会)を開催しています。	
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	青空事業所だけでなくより専門性と高い部署とも連携し適切な対応ができるように心掛けています。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	毎月のお便り、行事予定など情報の発信はしています。	活動の様子をお知らせする紙面は、限られていますが、もっとたくさん保護者に伝えたいと思えるような、活動をつくっていきたい、と考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	最重要課題として取り組んでいます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	口頭での伝達では、トラブルが想定されるので、わかりやすい文章を残して伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	大きなイベント時には声掛けをして、見に来てもらったりできるようにしています。	
46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	訓練としては実施している	各マニュアルを作成しているものの、周知という点では課題がある。	

非常時等の対応	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	毎月1回実施できるように計画している	もう少し回数を増やす必要がある。もっと計画していく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	毎年提出して頂くサポートデータを元に確認しています。	発作に関する緊急時の対応は医師の指示書を頂くようにしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	6	0	指示書対応はできていない。保護者からの細かな対応について情報共有での対応で留まっている	保護者の聞き取りを今後も丁寧に進めていきます。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	職員会議で報告し合い情報共有できるようにしています。	他事業所(同法人)でも情報共有しながら、いろいろな事例から予防につながるようにしています。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	毎年、外部講師を招いて虐待研修を行っています。	人権にも絡んだ内容での研修を開催している。基本を忘れないという思いでこの研修を進めています。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	今年度から義務化された身体拘束についても学んでいます。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 放課後等デイサービス 青空 保護者等数(児童数) 22名 回収数 13名 割合 59%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	0	0	2	まだ見たことがない	情報の発信や、面談や保護者会への参加できる機会を増やしていき、保護者への安心できるように進めていきます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	1		その日の利用児童の様子を見ながら安心安全な職員配置を整えていく様に今後も続けていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	0	まだ見たことがない	施設状況に関しては、面談やお便り、契約説明等で状況のお伝えできるように努めていきます。現時点では手すりやスロープ、多目的トイレが設置されています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	1		衛生面でも、引き続き子どもたちと一緒にみんなが使いやすく心地の良い居場所できるように協力して進めています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	0	0	1		保護者の方の想いを聴きながら、青空での活動経験を将来に繋げてもらえる場所と放課後のこの子に応じた安心できる居場所になれるよう目標を作っています。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1	0	0		支援計画目標は基本3項目としています。前期・中期ごとに目標の見直しを行い、新たな目標を作るのか、継続目標にしていくかを協議しながら、より具体的に保護者の方にも分かりやすい計画書となるように進めていきます。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	11	2	0	0		その日の活動をより具体的にお伝えしていき、目標や課題の変化が必要かを共有できる様に進めていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0		定例活動や普段の放課後活動でも色々な経験を積んでもらえる支援と好きな事を思いっきり仲間とできる場所と支援を進めています。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	0	0	2		現在地域学童や児童館交流は実施できていませんが、中高生主体とする青空でも同年代交流ができる機会づくりを那賀地域全体で進められるように協議を進めている所です。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0		より丁寧な説明することに努力いたします。懇談会や交流会等でも時間を作って行けるように進めていきます。
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1	1	0		より丁寧な説明することに努力いたします。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	1	1	0		卒業後の進路等については、持てる力を判断して、作業所情報などを提供し、方向性の選択肢をアドバイスするようにしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0		送迎時や面談時に、お子様の状況をお伝えし、お家での様子を聞かせていただくなどして、ともに成長を喜び合える関係を築いていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	1	1		年1回以上は面談の機会を持つようになっています。しかし、情報発信やアドバイスの発信は課題があります。お話ししやすい環境作りや同法人内の相談員とも連携していきながら支援の強化を進めていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	1	0	1		保護者向けの学習会や交流会、親子イベントを通して、交流機会が設けられよう今後も計画、実施してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	0	0	0		今後も子どもや保護者からの相談や苦情に対しては、真摯に向き合い、迅速かつ適切に対応できるように、努めていきたいと思っております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0		口頭での伝達では、聞き取り間違いが起こることも想定されるので、お便りやメールなどで、文章を残すように配慮して、伝達するよう努めています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	0	0	1		『青空だより』を定期的に発行しています。放デイ各事業所の活動が伝わるようになっています。また、この評価表の結果は、ホームページで公表されます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	1		個人情報の取扱いについては、最重要課題として、取り組んでいます。

非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	0	0	0		周知徹底するよう努めています。各種マニュアルに沿って、特に緊急時・感染症対応、災害対応についてのお知らせは今後も定期的に発信していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	0		訓練の実施については、子どもたちの目線に合わせて計画していきます。月1回の訓練にも様々な災害を想定した計画を今後も続けていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0	毎日通えることをとても喜んでいきます。送迎も無理を聞いて頂きありがとうございます。	将来に向けての自信をつけてもらえる場として色々な経験ができる場・放課後時間として充実できる場・落ち着ける場としての青空として今後も努めていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0		

- この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。